

○日本語パートナーズ静岡県推薦プログラムオンライン説明会（6月10日） 質問と回答

No	質問	回答者	回答
1	日本語パートナーズに挑戦するに当たり、最も大変だったことは何か？	岩崎氏	パートナーズとして外国に行きたいという気持ちがとにかく強かった。実現に向けて計画的に進めた。
		関氏	自身の場合は、インドネシア語経験者だったため、語学の授業よりも、ティームティーチング等の授業の方が難しく感じた。
2	派遣中、給料や補助金はあるか？	国際交流基金	日本語パートナーズは国際交流基金からの業務委嘱という立場で活動する。給料や補助金ではなく、滞在中は滞在費として月額110,000円程度を支給する（所得税の源泉徴収の対象）。
3	派遣前研修は派遣直前の4か月間という認識で合っているか？	国際交流基金	4か月ではなく、約4週間の派遣前研修を行う。（具体的な期間は静岡県の募集要項を参照）
4	派遣前研修は本部のある東京で行われるか？	国際交流基金	タイについては埼玉県の国際交流基金日本語国際センター、インドネシアについては大分県の立命館アジア太平洋大学を予定している。
5	今年は年齢が条件を満たしていないため応募ができないが興味がある。大学生で参加した例はあるか？また、大学の単位振り替えなどの仕組みはあるか？	関氏	（通っていた大学には）単位振替の制度は無く、休学して参加した。
		国際交流基金	大学生も多く参加している。また、大学生を対象とした大学推薦プログラムがある。 【説明会後の補足説明】大学推薦プログラムで単位振り替えが行われているケースもあるが、単位振り替えの扱いは各大学の判断となるので、所属先の大学に確認いただきたい。
6	経験不問とのことだが、実際には現地語が元々話せる人や、日本語教師の経験、日本語教員の資格を持つ人が多いか？	国際交流基金	日本語教師や教師の資格を保有している方もいるが、そのような方ばかりではない。内定となった後、日本語パートナーズの派遣先機関への配置（マッチング）を検討するにあたり、現地語の能力や日本語教育に関する経験を考慮する場合がある。
7	授業は毎日か？1日に何時間教えたか？	岩崎氏	（岩崎氏の場合は）授業形式はほぼオンラインで実施。週に12時間、1日あたり2～3時間実施。
		関氏	基本的に土日は休みであったが、平日は毎日授業があった。
8	何を持って行ったか？持って行ってよかったものは何か？	岩崎氏	バンコクに日本企業が多く進出しており、ダイソー、ユニクロ等、驚くほど色んなものが揃っていた。折り紙用の和紙や、茶道具は持って行った。
		関氏	ゲーム形式の授業で、景品として使う、日本の飴や駄菓子は受けが良かった。派遣終了後も現地の方が継続できるように、現地の物で代用することも考えた方がよい。
9	現地で日本語を教えるにあたり、休みの日に事前準備等をしたか。また、休日はあったか？	岩崎氏	文化紹介のパワーポイントを作ったり、材料を揃えるために時間を使った。基本的には土日、国民の祝日、年末年始、10月の長期休暇がある。
		関氏	基本的には、出勤日の放課後の時間を使って準備することがほとんどであった。大がかりな準備が必要なものや、体験型の授業を行う場合には休日を使うこともあった。なお、休日はあった。
10	派遣前の研修が終わってから、実際の派遣までに何か活動や準備等はあるか？	国際交流基金	派遣前研修修了後、現地へ派遣されるまでの間は特に活動は予定していない。なお、渡航までに自身で派遣先国や地域に関する情報収集や現地語の勉強等をする日本語パートナーズが多い。
		岩崎氏	研修が短縮され2週間であったため、オンラインのタイ語講座を受けた。
		関氏	事前研修終了から派遣開始まで期間が少し空くため、インドネシア語（現地語）に定期的に触れる時間を作る。また、どのような授業を行いたいのか、考えておくこと。
11	例年の倍率等は公開されているか？	国際交流基金	倍率は非公表としている。
12	タイの日常生活について、質問する。タイ派遣の場合は外食中心とのことだが、日本食を食べられる場所はあるか？また、洗濯はどうしていたか？	岩崎氏	特にバンコクは日本の外食企業が多く進出しており、日本食材を扱うスーパー（フジスーパー）もあるため不自由しないが、地方は違うかもしれない。洗濯は、アパート1階にコインランドリーがあり40パーズで自由に使うことができた。暑かったためすぐに乾いた。
13	現地で静岡県のPRをするとのことだが、静岡県としてPRしてほしいという要望をだすのか？	静岡県域外交課	具体的な指示、要望は出さないが、折りに触れて静岡県をPR頂きたい。例えば、人と会う時や授業で静岡県の魅力を発信頂けたらと考えている。
14	未経験の人で採用された方はいない、という理解でよいか？	国際交流基金	資格や経験は採否に影響はない。資格や経験の有無にかかわらずこれまでも多くの方が派遣されている。
		岩崎氏	日本語を教えたことはなく、未経験の状態であったが、資格不問であったため、挑戦した。周りの参加者は経験者もいれば未経験者もいた。
		関氏	インドネシアへの留学経験があった。周りの参加者は15～20%が日本語教師の経験者や、インドネシア語が話せる人であったが、8割以上は未経験者であった。

- ・岩崎氏：R3 静岡県推薦プログラム派遣経験者（タイ）
- ・関氏：R元静岡県推薦プログラム派遣経験者（インドネシア）